

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 14 号

令和 6 年 10 月 9 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

「みんなが主役だ！ 笑顔輝く堂崎小！」 10月6日(日)運動会開催

残暑厳しい中、絶好の秋空のもと、多くの来賓の皆様をお迎えして運動会を開催しました。

自覚ある6年生を筆頭に、それを支える5年生の意識が高まり、全学年が赤組・白組それぞれに団結し、競技や演技に取り組み、精神的にもたくましくなりました。



<赤・白の応援の様子>

1・2・3年生は、徒競走や表現「dance×3 イロトリドリ!!」の練習、仲間との協力が必要となる大玉ころがし「ありんこレース」に元気よく取り組みました。1・2年生と祖父母による、玉入れも微笑ましかったです。

4・5・6年生は、練習を重ねるごとにバトンパスが上手になり、本番では力強いダイナミックな走りができました。また、表現「堂小ソーラン」は目力を意識して踊り、会場を魅了しました。腰の低さ、力強さが印象的でした。また、「いざ、出陣!頂上決戦!!」(騎馬戦)は会場の声援を味方に、迫力ある戦いが運動会を盛り上げました。

また、4・5・6年生は、それぞれの係活動をしながら、自分が出場する種目を頑張りました。6年生にとっては小学校最後の運動会。特に応援の練習では、幾度となく話し合いを重ね、下級生を動かす難しさやきびきびとした動作、響き渡る声出しなど、どうあるべきか自らの姿を発見し実践することにより、自信へとつなげました。このことは、5年生をはじめ、後輩たちに引き継がれていきます。6年生に憧れ、「協力する」、「本気になる」という自分を感じたと思います。そして全力で取り組み、成長した自分を実感したことでしょう。

参加した児童一人一人に「途中であきらめず、最後まで頑張りとおす力、仲間と協力しようとする力」が、練習から準備・運動会・後片付けまで、心と体の中に育ちました。この運動会の一番の収穫と言えます。高学年は学校を支えるリーダーとしての自覚を深め、中学年は、友情の温かさ、仲間と共に活動することの素晴らしさを実感し、低学年は、実行することを自分で感じ、自立の心を広げることができました。「運動会で得たものを、これからの学校生活で生かしていくこと」が、大切です。これからの堂崎小学校児童一人一人の成長を、楽しみにしています。

児童の輝く姿が、私たちに笑顔と感動をもたらし、「地域とともにある学校」、「子供が家庭や地域とともに輝く学校」へつながっていくものと感じました。保護者の皆様、PTA役員の皆様には、後片付けまで協力いただき感謝申し上げます。

子供たちのがんばり、輝きをご覧になれなかった皆様に、運動会の様子を一部画像でご紹介いたします。雰囲気だけでも感じ取っていただけると幸いです。



<6年生入場>



<6年生集合写真>



<6年生短距離走>



<1～3年:dance×3 10トリ>



<1～3年:大きなあれ大作戦>



<4～6年:いざ、出陣! 頂上決戦!! (騎馬戦)>



<6年・保護者:親子で合わせて!>



<1～3年:ありんこレース(大玉転がし)>



<PTA:親子なかよく>



<玉入れ:まごといっしょに>



<4～6年:堂小ソーラン>



<4～6年:赤白リレー>



<閉会式入場>

教育講演会が開催されます。 11月25日(月)

- 1 日時 令和6年11月25日 午後7時30分～
- 2 会場 ありえコレジヨホール
- 3 講師 長崎県メディア安全指導員 佐藤 匠実 さん
- 4 演題 メディアの危険性について

「元気ファミリープラン」では、十分な睡眠(早寝、早起き)、十分な食事・栄養摂取等、自分の健康を考えた規則正しい生活リズムに取り組んでいただいたことと思います。御協力ありがとうございました。そのような中、それらを阻害する要因の一つとして、過度なメディアの活用があるのではないのでしょうか。

メディアの危険性について考えながら、よりよい活用方法を学ぶことができたと思います。より多くの皆様に参加いただければと思います。